

## AI化を止める対策はあるのか 大庭隆聖

みなさんは、AI化が進んでいることを知っていますか。身の周りにある例といえば、エレベーター、自動販売機、掃除機など。物以外でいえば、資料整理、文字入力。最近はスマートフォンで5G というものも出ました。すべてAIで動いています。こうして聞く感じ的には人間にとって得のようにしか聞こえませんが、裏では、人間に少しずつ危機が迫ってきているのです。僕らの将来に関わることでもあります。

それは、職業のAI化です。一見仕事が楽になるだけに見えますが、そのままAIに職業が奪われる可能性があるのです。例えば、一般事務員、医療事務員、教育事務員、タクシー、バス、電車の運転手などです。すでにAI化になっている仕事は、スーパーのレジ係が主なものです。その中でも、医療事務員をピックアップしてみます。医療事務員とは医者や看護師のことです。では医者や看護師のことをどう思っていますか。人によりますが、安心して信頼を持てますよね。それではなぜ、安心して信頼を持てるのでしょうか。それは人に感情があるからだと思います。例えば子供が注射をすることにとっても怖がっている時、「大丈夫」とか「痛くないよ」など慰めることができます。それに対して医者や看護師がAIになってしまうと、AIは自我を持ちませんし、感情もありません。もしそんなAIに治療してもらおうとなるとどうでしょう。僕は嫌です。どれだけ技術が備わっているとしても、どうしても不安な気持ちはぬぐえません。

では、どうやって職業のAI化を止めることができるのでしょうか。結論から言うと、止めるのは不可能だと思っています。なぜかという、人間は楽をすることを欲しがるからです。世界で今日までにいろいろな発明をし、開発し続けてきました。なぜ開発をするか、それは楽を求めているからなのです。なので、いずれはAI化になると思います。でも、AI化の進行を緩めることならできるかもしれないと思いました。そのAI化の進行を緩める方法は、人間はAIになんか頼らずに生きていけるというのを世間に証明することだと考えました。でも技術では必ずAIに負けてしまいます。ただ人間には、AIの持たない自我を持っています。技術も自我も備わっているものは少ないと思います。なので、人間はAIを頼らず生きていくのは困難だという結論に至りました。

そこで新たな策を考えました。それは、人間とAIを共存させるということです。医者に例えると、手術や治療はAIの力を借り、患者と向き合って話をするのは人間が主にするということです。これなら、AIに職業を奪われることなく、生活することができると考えました。AIは、うまく活用することができる新たな武器になるということが分かりました。

身の回りには、ビルや機械などがたくさんあります。AIは自我や感情を持っていません。なので、AIが働く世界はあってはならないことだと思います。学校の先生がAIになったら先生とのコミュニケーションがとれなくなってしまいます。医者がAIになったら患者の死を感情なく見届けられてしまいます。つまり、どんどんいろいろな開発がされると、その分失う物もたくさん増えることが分かります。僕はまだ14歳で将来のことはまだ何が起こるかわかりません。将来、こんなことが起こらないためにいろいろなことに努力して、AIと共存できる社会を作りあげたいなと思いました。